

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って62単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、短期大学士（日本語文化学）の学位を授与します。</p>			<p>本学科ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>本学科が開講する科目は、2年間の学修の基盤となる「基礎教育科目」と、日本語・日本文学・日本文化に関する専門的知識・技能を高める「専門教育科目」の2つの柱として編成します。</p> <p>「基礎教育科目」は、短期大学部での学生生活に慣れ、専門的学修の基盤を整える科目、実用的な情報機器（ICT）活用技能を身に付ける科目、および実践的な日本語表現技術を習得する科目によって構成します。</p> <p>「専門教育科目」は、1年次前期の「日本語学入門Ⅰ」「日本文学入門Ⅰ」から2年次後期の「卒業研究」まで、日本語・日本文学・日本文化に関する多面的な学修を順次深めていくように配当します。また、「美しい話し方」「ビジネス敬語」「オフィスマナー」など、社会で求められているコミュニケーション技能を習得するための科目群を重点的に設置します。「海外文化体験演習」「世界の中の日本語」など、日本文化を客観的にとらえて視野を広げるための科目も設けます。</p> <p>技能・表現に関する科目では、アクティブラーニングなど双方性の高い授業を進んで取り入れ、学生が主体的に学び発信する姿勢を養います。</p> <p>「基礎教育科目」および「専門教育科目」各科目の系統的な学修を通して、日本語・日本文学・日本文化に関する幅広い知識を修得し、実用的なコミュニケーション技術を身につけ、課題発見能力と問題解決能力を獲得していきます。</p>	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>日本の言語・文学・文化に関する深い教養に裏付けられた、日本語によるコミュニケーション力の獲得を目指し、学修を通して得た専門的知識と論理的思考力を活かして、職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、中学校の国語科教諭、図書館司書等の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意志を持った人。</p> <p>そのためには、国語（現代文・古文）に習熟するとともに、文系・理系の科目をバランスよく学んで、基礎的な学力を確保していることが求められます。</p>
1. 知識・理解	1-1	日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。	<p>「基礎教育科目」は、短期大学部での学生生活に慣れ、専門的学修の基盤を整える科目、実用的な情報機器（ICT）活用技能を身に付ける科目、および実践的な日本語表現技術を習得する科目によって構成します。</p> <p>「専門教育科目」は、1年次前期の「日本語学入門Ⅰ」「日本文学入門Ⅰ」から2年次後期の「卒業研究」まで、日本語・日本文学・日本文化に関する多面的な学修を順次深めていくように配当します。また、「美しい話し方」「ビジネス敬語」「オフィスマナー」など、社会で求められているコミュニケーション技能を習得するための科目群を重点的に設置します。「海外文化体験演習」「世界の中の日本語」など、日本文化を客観的にとらえて視野を広げるための科目も設けます。</p> <p>技能・表現に関する科目では、アクティブラーニングなど双方性の高い授業を進んで取り入れ、学生が主体的に学び発信する姿勢を養います。</p> <p>「基礎教育科目」および「専門教育科目」各科目の系統的な学修を通して、日本語・日本文学・日本文化に関する幅広い知識を修得し、実用的なコミュニケーション技術を身につけ、課題発見能力と問題解決能力を獲得していきます。</p>	<p>日本の言語・文学・文化に関する深い教養に裏付けられた、日本語によるコミュニケーション力の獲得を目指し、学修を通して得た専門的知識と論理的思考力を活かして、職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、中学校の国語科教諭、図書館司書等の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意志を持った人。</p> <p>そのためには、国語（現代文・古文）に習熟するとともに、文系・理系の科目をバランスよく学んで、基礎的な学力を確保していることが求められます。</p>
	1-2	自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を把握している。		
2. 技能・表現	2-1	日本語のしくみ特性を理解し、自らの思考を他者に対して正しく発信する能力を備えている。	<p>技能・表現に関する科目では、アクティブラーニングなど双方性の高い授業を進んで取り入れ、学生が主体的に学び発信する姿勢を養います。</p> <p>「基礎教育科目」および「専門教育科目」各科目の系統的な学修を通して、日本語・日本文学・日本文化に関する幅広い知識を修得し、実用的なコミュニケーション技術を身につけ、課題発見能力と問題解決能力を獲得していきます。</p>	<p>日本の言語・文学・文化に関する深い教養に裏付けられた、日本語によるコミュニケーション力の獲得を目指し、学修を通して得た専門的知識と論理的思考力を活かして、職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、中学校の国語科教諭、図書館司書等の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意志を持った人。</p> <p>そのためには、国語（現代文・古文）に習熟するとともに、文系・理系の科目をバランスよく学んで、基礎的な学力を確保していることが求められます。</p>
	2-2	情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。		
3. 思考・判断	3-1	日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。	<p>技能・表現に関する科目では、アクティブラーニングなど双方性の高い授業を進んで取り入れ、学生が主体的に学び発信する姿勢を養います。</p> <p>「基礎教育科目」および「専門教育科目」各科目の系統的な学修を通して、日本語・日本文学・日本文化に関する幅広い知識を修得し、実用的なコミュニケーション技術を身につけ、課題発見能力と問題解決能力を獲得していきます。</p>	<p>日本の言語・文学・文化に関する深い教養に裏付けられた、日本語によるコミュニケーション力の獲得を目指し、学修を通して得た専門的知識と論理的思考力を活かして、職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、中学校の国語科教諭、図書館司書等の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意志を持った人。</p> <p>そのためには、国語（現代文・古文）に習熟するとともに、文系・理系の科目をバランスよく学んで、基礎的な学力を確保していることが求められます。</p>
	3-2	論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。		
4. 態度・志向性	4-1	日常生活の中で短期大学部での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。	<p>技能・表現に関する科目では、アクティブラーニングなど双方性の高い授業を進んで取り入れ、学生が主体的に学び発信する姿勢を養います。</p> <p>「基礎教育科目」および「専門教育科目」各科目の系統的な学修を通して、日本語・日本文学・日本文化に関する幅広い知識を修得し、実用的なコミュニケーション技術を身につけ、課題発見能力と問題解決能力を獲得していきます。</p>	<p>日本の言語・文学・文化に関する深い教養に裏付けられた、日本語によるコミュニケーション力の獲得を目指し、学修を通して得た専門的知識と論理的思考力を活かして、職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、中学校の国語科教諭、図書館司書等の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意志を持った人。</p> <p>そのためには、国語（現代文・古文）に習熟するとともに、文系・理系の科目をバランスよく学んで、基礎的な学力を確保していることが求められます。</p>
	4-2	広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。		